

めいわ社協だより

令和2年9月号 令和2年9月1日発行

社会福祉法人明和町社会福祉協議会
(明和の里・ありんこ)
三重県多気郡明和町大字馬之上917-1
TEL 0596-52-7056
FAX 0596-52-7057
<http://www.ma.mctv.ne.jp/~mei-skyo/>

★ 明和町内企業CSR紹介 ★

近畿日本鉄道 明星列車区長 深川 浩氏
助役 奥野 能規氏

〒515-0313 多気郡明和町大字明星2597
TEL0596-52-7738 FAX 0596-52-7738



CSR活動取材させて下さい!

うちの会社の活動を紹介して!
地域の為に何かしたいと思っている!
そんな企業担当者様、是非上記まで
ご連絡ご相談下さい!

担当 山田・西中

乗客皆さんに「安全」に「安心」して ご利用頂く為の日々の取組

私たち明和町民のみならず、三重県民にとって欠かす事の出来ない公共交通機関である「近鉄」さん。通勤、通学利用はもちろんの事、伊勢志摩の観光地へ来られる方等、多くの方にとって親しまれている「近鉄」さんが、常に心掛けている事が「お客様を安全に目的地まで輸送すること」。「障がいをお持ちのお客様や高齢のお客様にも快適にご利用頂ける様お手伝いをする事も日常的な仕事です」と区長の深川さんは穏やかな口調でお話し下さいます。

監督者の大半は「サービス介助士2級」の資格を取得し、訓練においては「高齢者疑似体験セット」を着用して、お身体が不自由なお客様の身になる事で「どういったお手伝いが必要か」という事を身をもって体感しているようですが、多くの乗務員さんにはその経験がなく、その訓練に際して「社協」へご相談頂きました。

今回の連載では、「近鉄」さんが乗客の皆さんに安全安心してご利用いただく為の日々の取組と併せて、「明和町障害者の会」との意見交換会や会員さんの訓練参加など様々な取組に拡がった経緯をご紹介します。

安全、安心への思いが 新たなご提案、出会いに繋がる

昨年7月、ご相談を受けて毎年行われている乗務員の皆さんへの訓練に私達社協も視察参加をさせていただきました。「高齢者疑似体験セット」を着用した上で、通常時の乗降動作から非常時の避難誘導までを事細かに訓練されており、乗務員同士が体感する事で、「こんなに動きにくいのか…。これからは障がいをお持ちの方やお年寄りのお客様を見かけたら、扉の取扱いはなお細心の注意を払う必要がある」「降車途中の放送はお客様を焦らすことになり、転倒の危険があるのではないか」等、体験したからこそ感じる率直な意見交換がされており、乗務員の皆さんがいかに乗客の安全安心に対して高い意識をもって業務にあたられているのかを目の当たりにしました。

乗務員の皆さんの思いの強さに心打たれた私達は、ある提案をさせていただきました。「是非、障がいをお持ちの方も一緒に訓練に参加してもらい、生の声を聴いてもらえたら、私が間接的に伝えるよりも、より実務に即した訓練ができるので

はないでしょうか?」

深川区長さんはじめ、皆さん「是非!」と書いていただき、お忙しい中調整をしてもらい、当事者の方も交えた意見交換会と訓練が10月と2月に実施されました。



乗務員同士の訓練の様子



「明和町障害者の会」と共に 安全安心を考える

意見交換会と訓練にあたり、社協から「明和町障害者の会」にご相談した所、会長さんをはじめ皆さん「私たちの「声」が、日頃お世話になっている近鉄の皆さんのお役に立てるのであれば是非!」とご快諾頂きました。当日は視覚障がいをお持ちの会員2名とそのご家族が参加され、電車利用時の体験談や介助する時の留意点をお話し頂き、質疑応答では予定時間をオーバーする程、活発に質問が飛び交い日頃の疑問を率直に投げかけられている様子がとても印象的でした。又、訓練に際しても、介助や誘導、お声かけの仕方などを意見交換しながら実施できました。

今回、乗務員さんへの訓練というご相談を頂戴した中で、明和町障害者の会の皆さんもご参画いただき、新たな取組を共に行う事ができました。それも、近鉄明星列車区の皆様が「あらゆる乗客の皆様への安全安心の提供」という企業の社会的責任(Corporate Social Responsibility)を果たそうという姿勢があってこそその成果とつくづく感じました。今回の取組・取材を通して、今後も近鉄明星列車区の皆様と発展的に「福祉のまちづくり」を進められる嬉しい予感が生まれています!



意見交換会・訓練の様子



たくさんのご寄附 ありがとうございました

(令和2年1月～6月)

辻いんさつ30,000円、明和中学校ボランティア部26,651円、プランニング・ニュー20,000円、募金箱(明和の里窓口)16,051円、募金箱(保健福祉センター)2,583円、募金箱(カインズ明和店サービスカウンター)900円

河田フェザー株式会社 不織布マスク2,000枚、緑の会有志 手作りマスク22枚、上御糸小学校 プランター5台、斎宮小学校 プランター3台、フードバンク多文化みえ 菓子48箱・6袋(敬称略)

その他にも匿名の方・団体より、車椅子、お米、野菜、羽毛布団、スーツ等、たくさんのお寄せをいただきました。

**皆様のあたたかいご厚意に感謝し
有効適切に使わせていただきます。**



令和2年度 募金活動実績報告

日本赤十字社社資

募集期間 5月1日～5月31日

募金額 1,215,915円

全額日本赤十字社に送金し、医療活動・活動日赤車(災害救助)・羅災害救助援助物資(毛布・災害セット・テント)などの配備等に使われています。

また明和町への配分金は、災害ボランティア養成講座開催や防災備蓄品の購入などに使われています。



福祉の町づくり資金 (社協会費)

募集期間 7月1日～7月31日

募金額 765,450円

5地区の福祉委員会へ配分し、小学校・幼稚園への入学祝や卒業祝、運動会への助成金、コミュニティセンターや公民館の物品の購入等に活用されています。

その他、「めいサポ事業」や「配食サービス事業」等、地域の支え合いにも活用されています。



令和元年度 収支決算

(単位:千円)

